Gastro-Health Now

認定ＮＰＯ法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
Certified Non Profitable Organization
Japan Research Foundation of Prediction,
Diagnosis and Therapy for Gastric Cancer (JRF PDT GC)

目　次

◆ 北里大学病院・北里大学東病院における胃がんハイリスク検診　（ABC検診）…1
◆ あとがき・お知らせ……4

印刷　城南印刷工芸(株) 03-3752-3391

発行所　認定NPO法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
〒108-0072
東京都港区白金１丁目17番２号
白金タワーテラス棟 609号室
電 話　03-3448-1077
FAX　03-3448-1078
E-mail：info@gastro-health-now.org
http://www.gastro-health-now.org

2014.11.1
第33号

北里大学病院・北里大学東病院における胃がんハイリスク検診（ABC検診）

はじめに

胃がんの主たる原因が *Helicobacter pylori* (*H.pylori*) 感染症であり、除菌治療によりその発症が有意に抑制されることが既に報告されている。胃がんの早期発見と同時に、*H.pylori* 除菌対象者の抽出・除菌治療による胃がん発生の予防という２つの意味をもつ胃がんリスク検診（ABC 検診）は、2007 年以降わが国において徐々に普及している。

今回、北里大学病院・北里大学東病院で新たに導入された胃がんリスク検診（ABC検診）について、検診成績および臨床的有用について検討した。

北里大学医学部　消化器内科学
北里大学病院　健康管理センター
竹澤　三代子

これからの胃がん対策『ABC検診→画像診断→ピロリ菌除菌』へのすすめ

胃がんリスク検診（ABC 検診）マニュアル
―胃がんを予知して，予防するために―

改訂２版

編集：認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構
南山堂　価格2400円（税抜き）

“ABC検診” 唯一のマニュアルの大改訂！

胃がんリスク検診は，*H.pylori* IgG抗体価（ピロリ菌感染）と血清ペプシノゲン値（萎縮性胃炎）によるABC分類を一次スクリーニングとする，胃がんリスクを層別化するまだ新しい胃がん対策検診です．WHOは，胃がんのほとんどがピロリ菌の慢性的な感染が原因とコメントしており，ピロリ菌を考慮した胃がん対策をとるよう勧めています．
そして，ピロリ菌除菌療法の適用拡大に伴い，本検診法を導入する自治体や健保組合，医療機関も増えてきました．本書初版より５年ぶりの大改訂を行い，新たな知見や問題対策などを盛り込んだ，ABC検診の最新情報を提供します．

2014年版改訂のポイント

1 胃がんリスク検診（ABC検診）の呼称について 2 内視鏡実施間隔について 3 実施方法について
4 ペプシノゲン法、HPIgG値のカットオフ値について 5 A群の問題 6 B群の問題 7 D群の問題
8 E群について 9 胃がんリスク検診からピロリ菌除菌へ 10 有効性評価について 11 食道がん対策 12 公平な記載

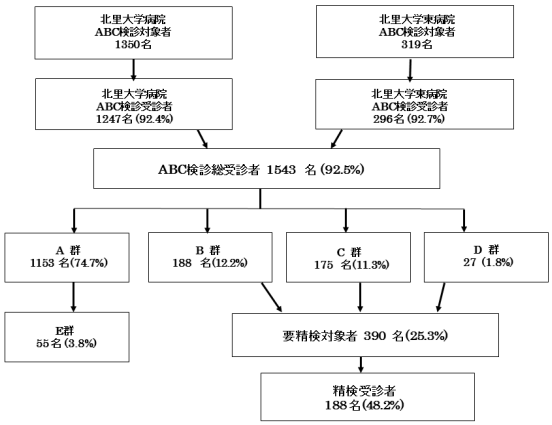

図１　当職域における ABC 検診受診者の内訳

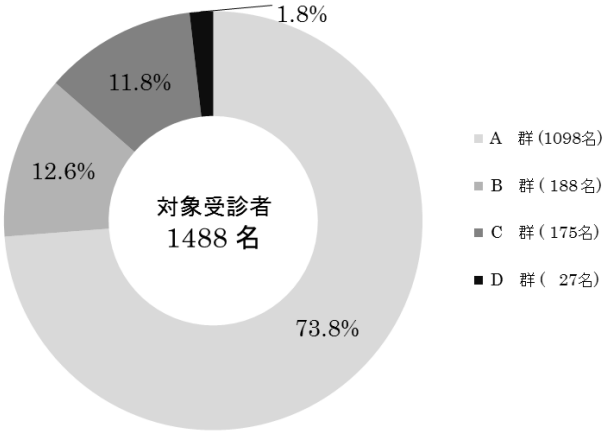

図２　ABC 検診対象受診者 1488 名の判定結果の内訳

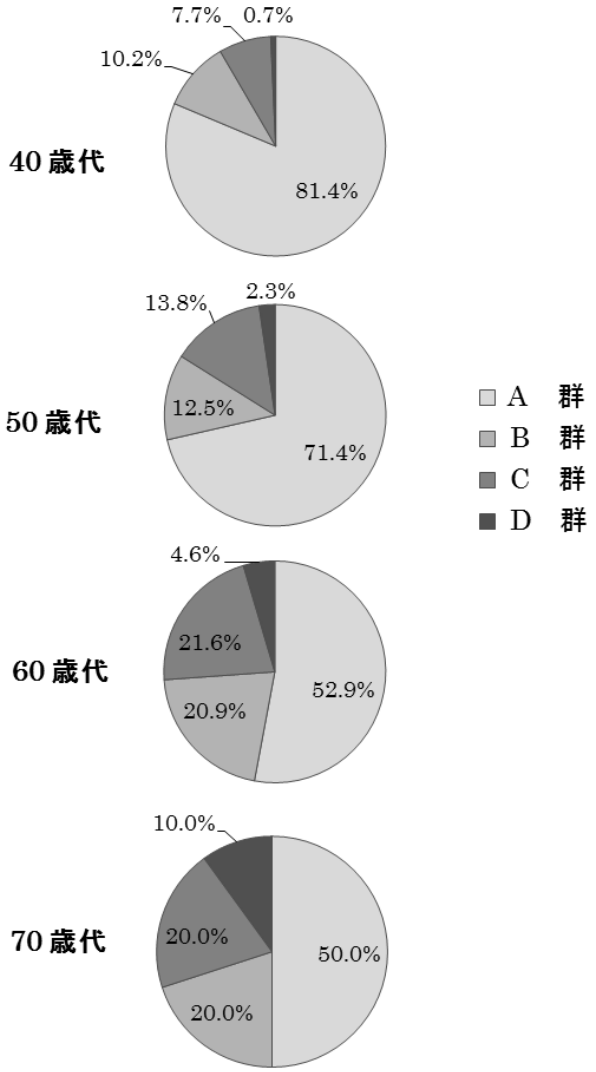

図３　年代別 ABC 検診判定内訳

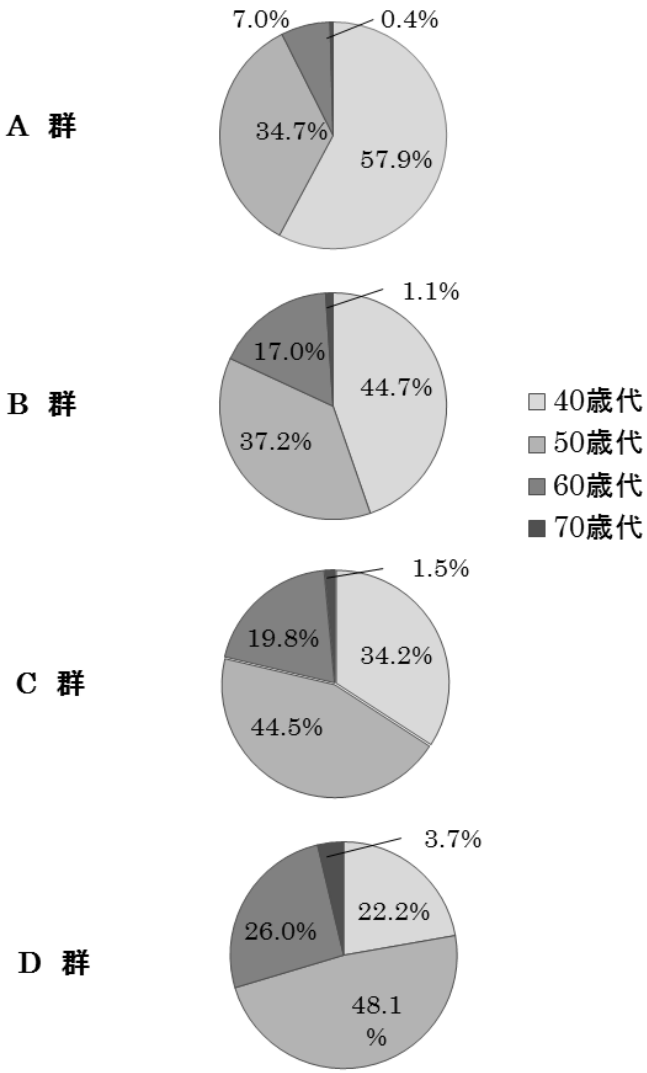

図４　判定グループ別の年齢分布

当職域での ABC 検診の方法と成績：

2011 年 6 月に当職域で実施した定期健康診断対象者のうち、2011 年 12 月までに 40 歳以上となる 1669 名を受診対象とした。胃がんリスク検診（ABC 検診）マニュアル 2009 に従って、血清抗 *H.pylori*（*HP*）抗体および血清ペプシノゲン 値を測定し、両者の値によって胃がん発生リスクを A、B、C、D の 4 群に層別化した。A 群を低リスク、B 群を中間群、C、D 群をハイリ

スク群とし、B、C、D群を精検対象とした（図1）。

ABC検診の受診率は1543名（92.5％）であった。過去に除菌歴を有するE群55名をA群と判定された1153名から除外した結果、A群は1098名となった。検討対象となる1488名の判定結果の内訳は、A群1098名（73.8％）、B群188名（12.6％）、C群175名（11.8％）、D群27名（1.8％）で、要精検となった教職員は390名（25.3％）であった（図2）。

年代別にABC検診の判定の内訳をみると、精検対象となるB、C、D群の占める割合は、40歳代で18.6％、50歳代で28.6％、60歳代で47.1％、70歳代で50.0％と年齢が増加するに従い増加した（図3、4）。要精検者のうち現在までに精検済みの者は188名（48.2％）（図5）、診断された主な疾患の内訳は、胃潰瘍13名（6.9％）、十二指腸潰瘍54名（28.7％）、萎縮性胃炎156名（83.0％）、胃がん3名（1.0％）であった（図6）。胃がんと診断された3名全てがC群で、早期胃がんと診断された2名は内視鏡的治療（内視鏡的粘膜下層剥離術）、進行胃がんと診断された1名は外科的治療がそれぞれ施行され、いずれも治療経過良好である。

結　論：

ABC検診総受診者のうち、要精検となったB、C、D群は390名（25.3％）であった。40歳以上を胃がん検診の対象とした場合A群は74.7％で、ABC検診の導入により従来の胃がん検診対象者を約4分の1に集約することができた。

ピロリ菌感染者は今後減少傾向にあり、胃がん低リスク群と考えられるA群の割合が増加することで、将来的な胃がん検診対象者が減少・集約されることが期待されている。受診者への負担が少なく、実施施設の制約も少ないABC検診は病因論に基づいた、集約的・効率的な胃がん検診であると期待される。

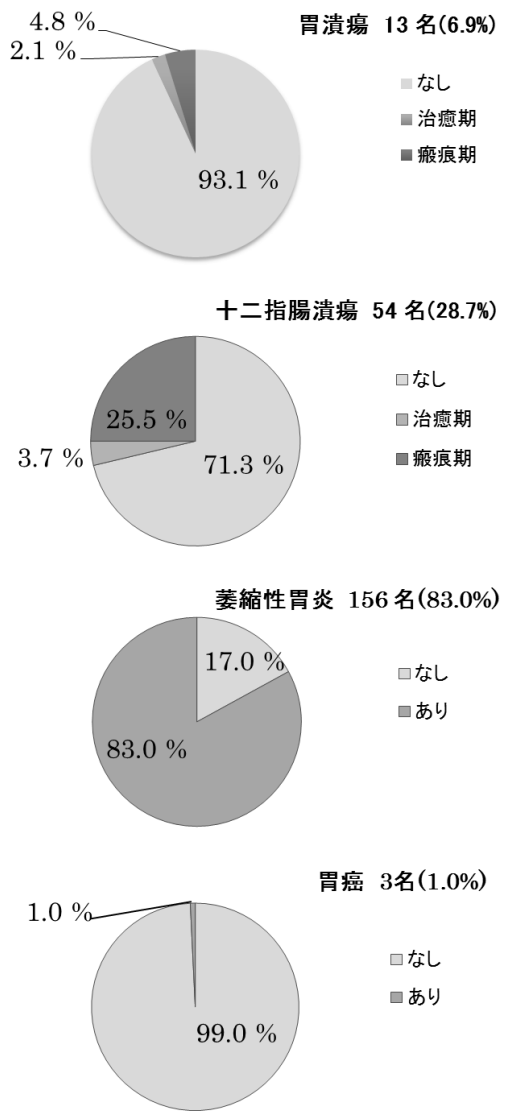

図5　精検受診者188名の診断結果

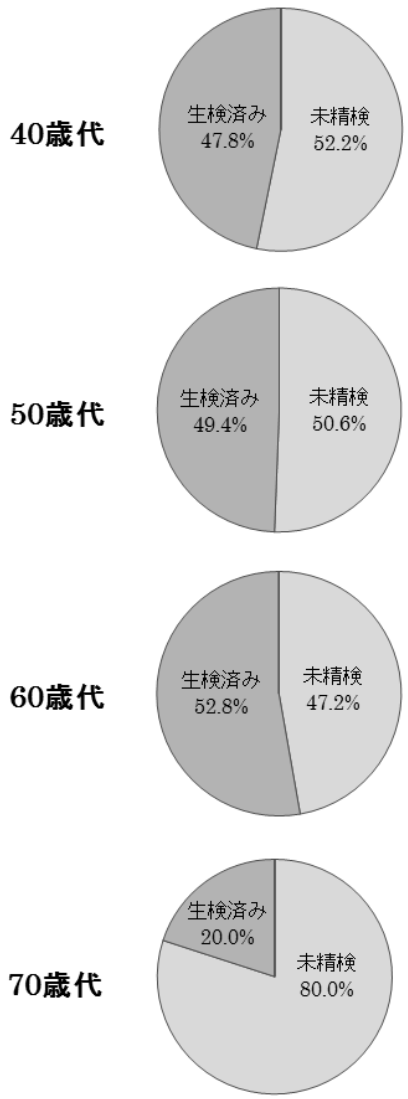

図6　年代別精検受診率

お知らせ　第５回　白金カンファレンス

日時　平成26年 **11** 月 **14** 日（金）18：30～19：30（講演45分　質疑応答15分）
場所（予定）　白金タワー棟１階フォーラム17会議室（18：00開場）東京都港区白金 1-17-1
参加申し込みは、事前にメールまたはFAXにてお願い致します。
（E-Mail　info@gastro-health-now.org　FAX　03-3448-1078）

演　者　**加藤元嗣**（北海道大学病院　光学医療診療部部長）
演　題　「内視鏡診断による胃がんリスク評価～UPDATED 京都分類を踏まえ」(仮題)
対　象　医療関係者および一般の方（30～50名予定）　参加費　無料

告知　実務セミナー「第６回 ABC検診ゼミナール」開催のお知らせ

日　時：**11** 月 **26** 日(水)　**14:45～16:15**（受付開始 14：35　閉場は 16：30）
場　所：**白金タワー１階　フォーラム17**　東京都港区白金 1-17-1
東京メトロ南北線・都営三田線の白金高輪駅から徒歩５分

プログラム
■ 講演Ⅰ　「ピロリ菌除菌を軸とした新しい胃がん予防戦略」（仮題）
講師　岡本昌也（富士フイルムメディカル株式会社　社長特命　がん対策プロジェクト担当）
■ 講演Ⅱ　「はじめてのデータヘルス計画」（仮題）
講師　関　勝廣（日本中央競馬会健康保険組合　事務局長）
■ 質疑応答・意見交換

対象：健康保険組合で健診(検診)を担当されている方、その他。参加費は無料です。
申込みは、当NPOサイトより、申込用紙（PDFデータ）をダウンロードしてFAXにてお申込みください。
意見交換をしやすい規模を考え、定員は30名(先着順)とさせていただきます。

あとがき

WHOは、胃がんのほとんどがピロリ菌の慢性的な感染が原因とコメントしており，ピロリ菌を考慮した胃がん対策をとるよう勧めています。胃がんリスク検診には未解決も問題もありますが、胃がん対策の過渡期の今を乗り切る有用な手法であることは間違いありません。

このたび、当NPO法人は『胃がんリスク検診（ABC検診）マニュアル』改訂２版―胃がんを予知して，予防するために―（南山堂）を発刊いたしました。改訂２版では、本号の竹澤三代子先生をはじめ多くの著者のご協力のもと、新たな知見や問題対策などを盛り込んだ最新情報を提供できました。関係各位に深く感謝申し上げます。（M）

事務局より　お知らせ

■ 平成26年度　ご支援のお願い
みなさまのご支援をお願いいたします。
【会費】平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）
賛助会費　（個人）1口3000円　（法人）1口30,000円
【寄附】平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）
当機構は平成25年5月29日に認定NPO法人になり、ご寄附下さる方に税制上の優遇措置がございます。

■ 平成26年度　主な事業予定
1）学術講演会「白金カンファレンス」（年1回）開催　2）実務者セミナー「ABC検診ゼミナール」（年10回）開催　3）NPOサイトを通じた情報発信とABC検診実施機関検索サイト運営　4）機関紙「Gastro-Health Now」発行　5）『胃がんリスク検診（ABC検診）マニュアル』改訂

■ お振込み先

お振込み先　＊三菱東京ＵＦＪ銀行 目黒駅前支店　普通預金 No. 0008527
特定非営利活動法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構 理事長 三木 一正
＊郵便振替　00130-9-429200 日本胃がん予知・診断・治療研究機構

☆お振込の際、ご親族・職場等、複数の会員様でまとめる場合は、お手数ですが払込取扱票の通信欄に全員のお名前をご記入下さい。

■ 転居・所属変更・退会希望等は、お早めに電話・FAX・メールにて事務局までお知らせ下さい。

本誌バックナンバーは、インターネット上でご覧いただくことができます。　http://www.gastro-health-now.org